

「セロテック」 UIBC-L

ニトロソ-PSAP法

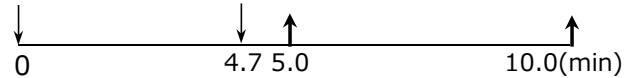
■特 長

- ・汎用自動分析装置で測定が可能です。
- ・直線性に優れています。
- ・共存物質は通常の濃度では影響ありません。

■測定原理

検体に既知過剰量の鉄を加えて、遊離トランスフェリンを鉄で飽和させ、残余鉄量をニトロソ-PSAPを用いて測定し、既知過剰鉄量から差し引いて検体中のUIBC値を求めます。

■測定条件(日立-7180の場合)

SAMPLE: 15 μ LR- I : 150 μ LR- II : 75 μ L

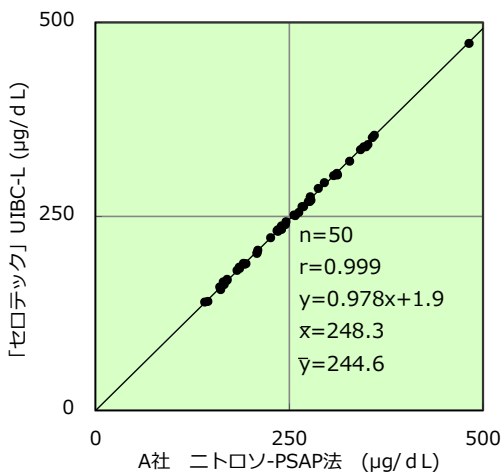
分析法/測定ポイント 2ポイント法 : 16-34

波長(副/主) : 600/750 nm

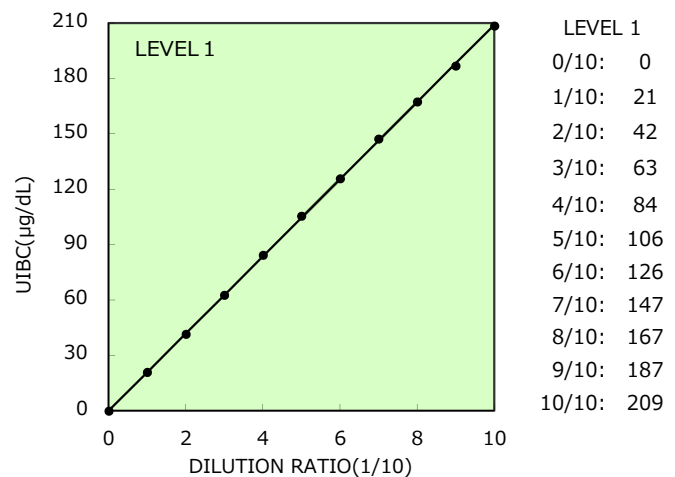
STD濃度 : 200 μ g/dL*

*Fe標準液を使用

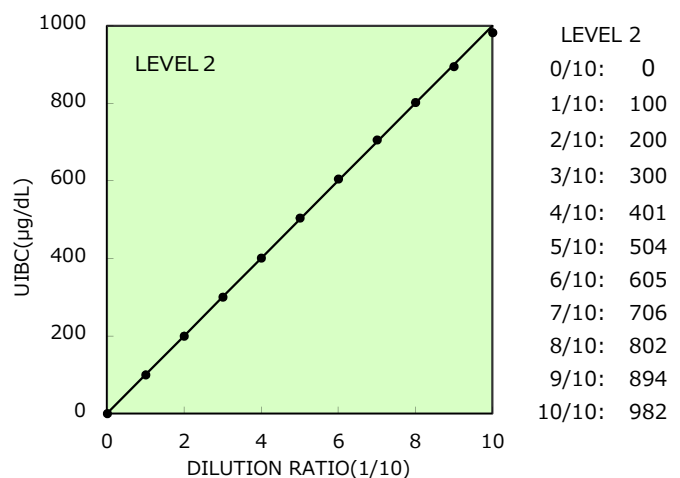
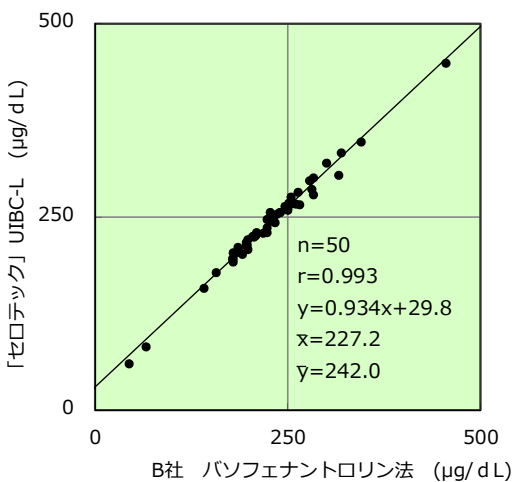
■相 関 (血清)



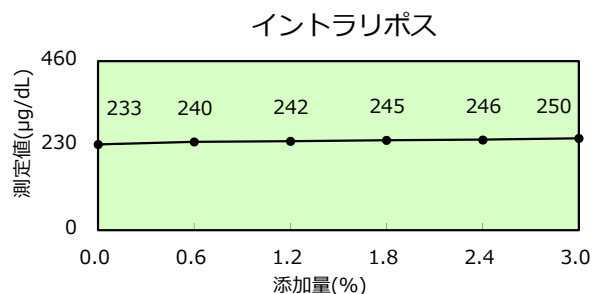
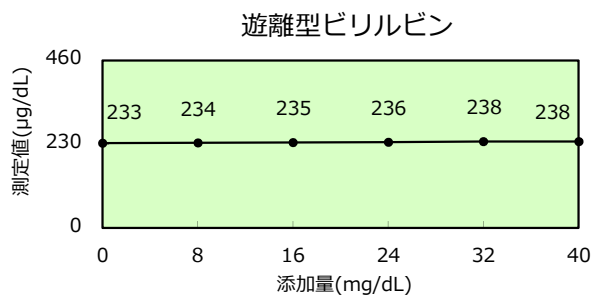
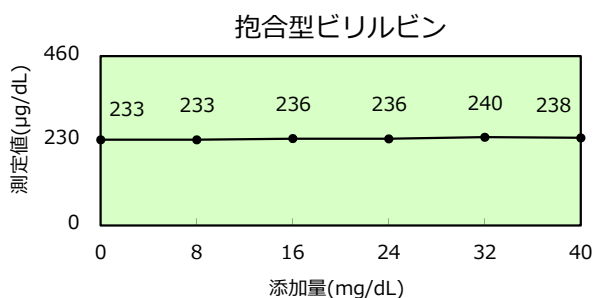
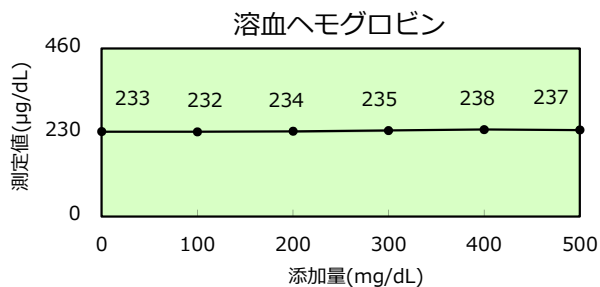
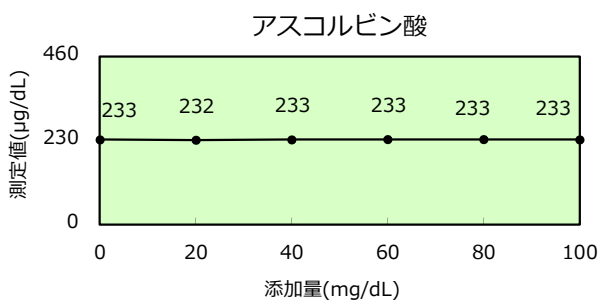
■直 線 性(ヒトトランスフェリン)



■相 関 (血清)



■ 共存物質の影響 (血清)



■ 同時再現性

(単位:μg/dL)

	SERUM I	SERUM II
N	20	20
MEAN	156	187
MIN	155	185
MAX	158	189
R	3	4
SD	0.851	1.343
CV(%)	0.55	0.72

■ 包 装

製品コード	製品内容	包装形態
A582-17	緩衝液A (R-I)	60ml×2
A582-12	緩衝液A (R-I)	80ml×2
A582-35	緩衝液A (R-I)	160ml×3
A582-25	呈色液B (R-II)	30ml×2
A582-22	呈色液B (R-II)	40ml×2
A582-65	呈色液B (R-II)	80ml×3

※他の包装につきましてはお問い合わせください。

■ 参考基準範囲

男性 111~255μg/dL

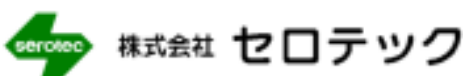
女性 137~325μg/dL

(山田満廣 他, 日本臨床検査自動化学会誌, 13 (5), p659, 1988)

■ 貯法及び有効期間

2~10℃保存 製造後1年6か月 (開封後は1か月)

※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



お問い合わせ先 (企画開発室)

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143

E-mail : kikaku@serotec.co.jp